

## 福知山市における4年制大学のあり方検討事業についての決議

平成12年4月に福知山市と学校法人成美学苑（現：学校法人成美学園、以下「学園」という。）が公私協力方式で開学した京都創成大学（現：成美大学、以下「大学」という。）は、開学当初から十分な学生確保ができないことなどの理由から厳しい運営を強いられ、社会に貢献する有能な人材の育成、地域の教育文化の振興・発展と活性化といった本来の目的が十分に達成できているとは言いがたい。

こうした現状を踏まえ、平成26年第3回福知山市議会定例会で可決した平成26年度福知山市一般会計補正予算「4年制大学のあり方検討事業（予算額350万円）」の執行においては、民意を重視し、以下の点に十分に意を用いるよう強く求める。

- 1 まず、「大学」の今日までの運営や財務状況及び学園から提出された「成美大学・短期大学部経営改善に関する報告書」を分析・検証し、福知山市における今後の4年制大学の意義や役割を明確にすること。
- 2 4年制大学のあり方については、あらゆる選択肢を客観的・総合的に判断し、最善のあるべき姿を導き出すこと。
- 3 新たに設置される「4年制大学のあり方に関する有識者会議（以下「会議」という。）は、透明性を高めるため原則公開とし、資料及び会議録を速やかに全て市民に公表すること。
- 4 4年制大学のあり方検討事業にかかる業務委託の内容は、全て公表すること。
- 5 「会議」及び福知山市の検討経過は、逐一、市議会に報告するとともに、4年制大学のあり方を決定する過程においては、市民や市議会の意見を聴取する機会を持つこと。

以上、決議する。

平成26年9月24日

福 知 山 市 議 会